

企業紹介

熟練工による高品質な精密板金技術と
最新設備による短納期・低コスト生産を実現



株式会社 難波製作所

代表取締役 難波 博
〒940-2053 長岡市福道町字前田804番地
TEL 0258-27-5161 FAX 0258-29-2326
<http://www.nanba-ss.co.jp>

業 種：精密板金、溶接組立
資 本 金：1,000万円
事業内容：工作機械・産業機械の安全保護カバー、角パイプ・
アングル等の架台、ブラケット類・レーザー加工品
(切断品)・アルミ製品の溶接加工および焼付塗装

精密板金や溶接組立のエキスパートである(株)難波製作所。今年で創業40周年を迎えるが、熟練工による高品質な精密板金技術と最新設備による短納期・低コスト生産により高い評価を得ている。さらに近年、高速・高品位加工を実現する6kwファイバーレーザー溶接機ロボットを導入し、次世代の溶接技術を可能とする。また、医療・食品・理化学業界などの新分野開拓にも注力している。

精密板金・溶接組立のエキスパート

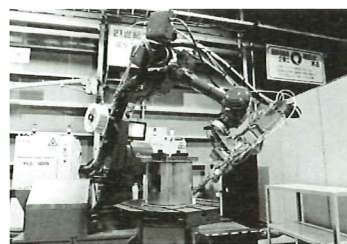
同社は、昭和48年に板金加工業として創業。その後、溶接・塗装部門に業容を拡大し、今日では精密板金と溶接組立のエキスパート企業に成長している。熟練工による高品質な精密板金技術と最新鋭設備が同社の強み。さらに、設計・プログラミングから加工・切断、ベンディング、溶接組立、仕上げ・塗装まで一貫生産体制による高品質・短納期・低コストを実現している。特に、産業用機械の筐体、架台や鉄道特殊車両のフレーム、半導体製造装置部品など中大型の精密板金・製缶加工を得意とする。「当社でしかできない加工技術と製品を提供する」ことで取引先から好評を得ているが、その背景には、他社に先駆けた高性能設備の導入に加え、加工技能を極める社員の研鑽の積み重ねがある。



▲長岡市福道町にある本社・工場

最新鋭設備導入により新分野開拓へ

近年、国内でも数少ないアマダ製「6kwファイバーレーザー溶接機ロボット」を導入。これによりこれまで不可能とされてきた溶接品質の向上、溶接工程の削減と高出力による高速溶接、さらには融点の異なる異種材溶接を可能とし、高品位な仕上がりで短納期・低コストを実現。今後は、溶接部に高品位な仕上がり求められる医療・食品・理化学業界などの新分野開拓にも注力する。



▲無限の可能性を秘めた「6kwファイバーレーザー溶接機ロボット」

機械要素技術展に2年連続で出展、難波ブランド確立へ

また同社は、あらゆる機械要素・加工技術が一堂に会する日本最大のモノづくり専門展「機械要素技術展」に2年連続で出展。ファイバーレーザー溶接機を活用した製品の出展により同社の優れた技術力を全国に発信している。「今後も『難波ブランド』確立に向け、技術力に磨きをかけ、お客様の多様なニーズに対応したい」と難波社長は語る。



▲2011年機械要素技術展ブース